



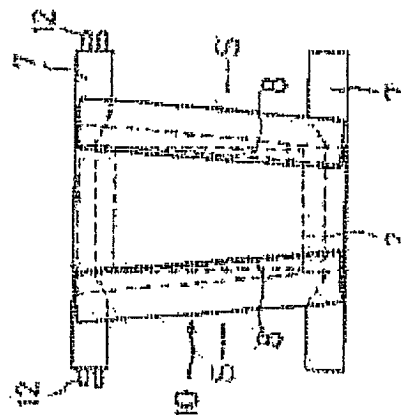
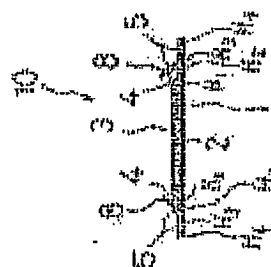
SIMPLE THREE-DIMENSIONAL DIAPER**Patent number:** JP1298202 (A)**Publication date:** 1989-12-01**Inventor(s):** WADA TAKAO**Applicant(s):** ZUIKO KK**Classification:**

- International: A61F13/494; A61F5/44; A61F13/15; A61F13/49; A61F13/56;
A61F5/44; A61F13/15; A61F13/56; (IPC1-7): A41B13/02;
A61F5/44

- european:

Application number: JP19880126079 19880523**Priority number(s):** JP19880126079 19880523**Also published as:** JP7044941 (B) JP2026985 (C)**Abstract of JP 1298202 (A)**

PURPOSE: To readily obtain the subject diaper of three-dimensional structure avoiding waste of material by sticking rubber threads coated with adhesive on both bent pieces formed by turning in two rows on both side parts of a sheet and fixing elastic belts on both end parts of top and bottom of main body of the diaper. **CONSTITUTION:** Bent pieces 4 and 5 are formed by turning in two rows on both side parts of top sheet 3 and rubber threads 8 coated with adhesive are inserted between pleats generated by the bent pieces 4 and 5. An absorbent 2 is loaded between bottom sheet 3 and top sheet 1, then the both sheets 1 and 3 are adhered with adhesive H1 and also at the points H2, H3 and H4. Elastic bands are adhered on top side and bottom side of main body of resultant diaper 10 in stretched state to make fixing belts 7.



⑫ 公開特許公報(A) 平1-298202

⑤Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬公開 平成1年(1989)12月1日

A 41 B 13/02
A 61 F 5/44K-6154-3B
H-7603-4C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

⑭発明の名称 簡易立体おむつ

⑯特 願 昭63-126079

⑰出 願 昭63(1988)5月23日

⑱発 明 者 和 田 隆 男 大阪府摂津市南別府町15番21号 株式会社瑞光内

⑲出 願 人 株 式 会 社 瑞 光 大阪府摂津市南別府町15番21号

⑳代 理 人 弁理士 奥村 文雄 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

簡易立体おむつ

2. 特許請求の範囲

非透水性のバックシートと疎水性且つ透水性のトップシートの間にマット状態のバルブ等を主体とした吸収体を挟み込んでその主要部分を形成するおむつに於いて、トップシートは吸収体より幅の広いシートを使用し吸収体を被覆する部分の左右をシートの表面を内側にし且つその折込幅が上端で小さく下端で大きくなるようシートの側縁部に対し傾斜した直線の第1折目線で内方へに折込み更に折込部分を第2折目線より第1の折目の方向へ折返して第1折曲片および第2折曲片を形成し、両折曲片の相接した襲の第2折目線の近辺に第2折目線に平行に伸長状態のまま接着剤を塗布した糸ゴムを貼付けて形成し、バックシートはトップシートの輪郭とほぼ等しい台形状に形成し、トップシートとバックシートを少なくとも吸収体のその両縁の近傍に於いて接着剤を以て接合する

ことにより吸収体を固定するとともに第1折目線の両側及びシートの両辺部等に於いて接合しておむつ本体を形成し、おむつ本体の幅より長い弾性体ベルトを弾性体の伸長状態でおむつ本体の上端部および下端部に固定して装着ベルトとした簡易立体おむつ。

○産業上の利用分野

本発明は、簡単でかつ効果的な小児用および失禁者用おむつに関するものである。

○従来技術と問題点

従来のおむつは使用時における股部分の装着性を良くするためと、おむつを装着する胴まわり寸法を確保するため、長手方向中央部両側を凹部としてトリムカットすることにより構成しているが、このトリムカット部分の素材が無駄になるばかりでなく胴まわりの部分にも同一の高価な素材を用い製品を高価なものとしている。

また、おむつ製造工程におけるトリムカットのコストも製品価格に転嫁されていた。

○本発明の目的

手 続 補 正 書 (方式)

明 細 書

昭和63年 9 月 14 日

特許庁長官 吉 田 文 毅 殿

1. 事件の表示

昭和63年特許願第126079号

2. 発明の名称

簡易立体おむつ

3. 補正する者

事件との関係 特許出願人

住 所 大阪府摂津市南別府町15番21号

名 称 株式会社 瑞 光
代表者 和 田 隆 男

4. 代 理 人

住 所 大阪市西区西本町1丁目2番8号
第5富士ビル新館内

氏 名 (0406)弁理士 奥 村 文 雄

5. 補正命令の日付

昭和63年8月3日(発送日: 63. 8. 30)

6. 補正の対象

明細書

7. 補正の内容

別紙添付の全文訂正明細書の通りに訂正(明細書第2頁第5行と第6行の間に「3. 発明の詳細な説明」を加入)します

8. 添付書類の目録

全文訂正明細書

1 部

ことにより吸収体を固定するとともに第1折目線の両側及びシートの両辺部等に於いて接合しておむつ本体を形成し、おむつ本体の幅より長い弾性体ベルトを弾性体の伸長状態でおむつ本体の上端部および下端部に固定して装着ベルトとした簡易立体おむつ。

3. 発明の詳細な説明

○産業上の利用分野

本発明は、簡単でかつ効果的な小児用および失禁者用おむつに関するものである。

○従来技術と問題点

従来のおむつは使用時における股部分の装着性を良くするためと、おむつを装着する回まわり寸法を確保するため、長手方向中央部両側を凹部としてトリムカットすることにより構成しているが、このトリムカット部分の素材が無駄になるばかりでなく回まわりの部分にも同一の高価な素材を用い製品を高価なものとしている。

また、おむつ製造工程におけるトリムカットのコストも製品価格に転嫁されていた。

1. 発明の名称

簡易立体おむつ

2. 特許請求の範囲

非透水性のバックシートと疎水性且つ透水性のトップシートの間にマット状態のバルブ等を主体とした吸収体を挟み込んでその主要部分を形成するおむつに於いて、トップシートは吸収体より幅の広いシートを使用し吸収体を被覆する部分の左右をシートの表面を内側にし且つその折込幅が上端で小さく下端で大きくなるようシートの側縁部に対し傾斜した直線の第1折目線で内方へに折込み更に折込部分を第2折目線より第1の折目の方向へ折返して第1折曲片および第2折曲片を形成し、両折曲片の相接した縁の第2折目線の近辺に第2折目線に平行に伸長状態のまま接着剤を塗布した糸ゴムを貼付けて形成し、バックシートはトップシートの輪郭とほぼ等しい台形状に形成し、トップシートとバックシートを少なくとも吸収体のその両縁の近傍に於いて接着剤を以て接合する

○本発明の目的

本発明は、消費者の関心を得んと争ううあまりややもすれば必要以上のアクセサリを添加し省資源に逆行する傾向の見られる公知のおむつに対する反省である。使い捨ておむつ出現当時に比べはるかに進歩した原材料、設計、製造技術を利用し簡易軽量ながら、おむつ本体の機能は効果的にはたし得るおむつにより、消費者の経済的負担を軽減し、省資源をはかり、かつおむつ製造工程の簡易化をはかることを目的とするものである。

○上記目的達成のための手段

本発明は、トップシートおよびボトムシートを四角形状に近い形状とし、シートの両側部に二段折込みにより第1折曲片と第2折曲片を形成し、両折曲片の間に伸長状態のまま接着剤を塗布して糸ゴムを貼付けておむつ本体を形成し、該おむつ本体の幅より長い弾性ベルトを弾性体の伸長状態でおむつ本体の上端部および下端部に固定して装着ベルトとした簡易立体おむつを提供する。

○実施例

である。

第3図は、弾性テープを二分割して装着バンドを形成する方法を示す説明図である。

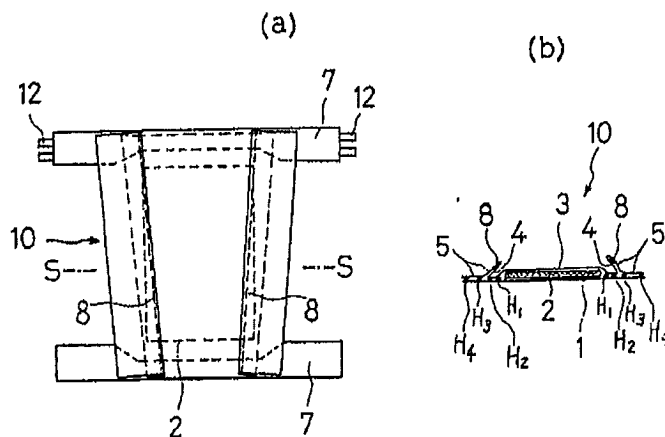
第4図は、本発明の第2実施例を示し、a図は平面図、b図は平面視長手方向の部分縦断面図である。

第5図は、本発明の第3実施例を示し、a図は平面図、b図は平面視長手方向の部分縦断面図である。

- 1 …… ボトムシート
- 2 …… 吸収体
- 3 …… トップシート
- 8 …… 糸ゴム
- 7 …… 装着ベルト
- 10 …… おむつ本体
- a, b …… 折込み線

出願人 株式会社 瑞光
代理人 弁理士 奥村文雄

第2図



第1図

